



上海便り

上海日本人学校
浦東校
H24 年度派遣
横山 由佳
平成25年9月



上海2年目の夏を迎えました。毎日40℃以上の上海の夏です。子どもたちは、7月25日から25日間の夏休みを終え、8月19日、元気に2学期の始業式をむかえました。

1学期には、運動会やチャレンジタイム、縦割り活動などがありました。2学期には、私の担任している5年生では、宿泊学習や社会科見学、現地校交流などが予定されています。1学期の学校の様子をお知らせいたします。

～運動会～

今年度から、小学部と中学部の運動会を別開催することになりました。昨年度9月に予定していた運動会は日中関係の悪化に伴い、中止となってしまったため、子どもたちには2年ぶりの運動会になりました。小中別開催になったことで、高学年の活躍の場が増えたり、低、中、高学年のくりだけでなく、学年ごとの種目も増えたりしました。

特に、ダンスなどの表現運動は、中国色を出したのものや、日本色を出したのものなどバラエティーに富み、大成功の運動会になりました。

1年生のダンスは、かわいい！入学して1ヶ月にも関わらず、隊形移動ばっちりでした。



2年生は、中国色たっぷりのカンフーダンス。キレのあるダンスを披露しました。



3年生は、元気いっぱい、ノリノリのダンスでした。最後のクラスごとのポーズもばっちりでした。



4年生は、日本色を出して、花笠など各地のおどりを紹介してから、みんなでソーラン節。流れるような動きが感動をよびました。



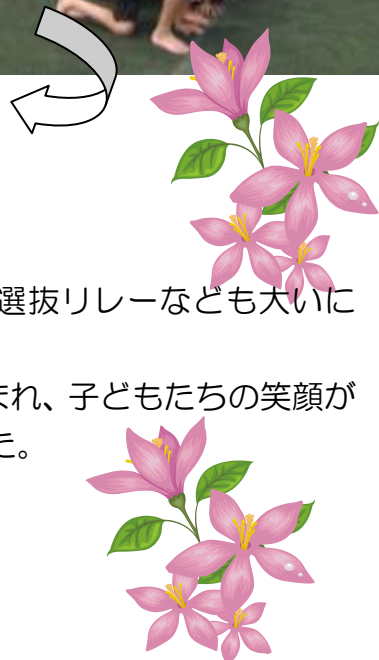


5, 6年生は、なんともいっても組体操。学年でそれぞれ全員ピラミッドも作りました。そのおしりには、中国と日本の国旗を！！



全校で行う大玉送りや選抜リレーなども大いに盛り上がりました。

天候にも、空気にも恵まれ、子どもたちの笑顔が咲いた運動会になりました。



～チャレンジタイム～

PTA主催の活動で、チャレンジタイムを行いました。保護者の皆様が工夫を凝らし、子どもたちのために考えてくださる行事です。

今年は、乙武洋匡さんの講演会を行っていただきました。「みんなちがって、みんないい」というテーマで、「何事にもあきらめないで、チャレンジしてほしい。」というメッセージをいただきました。



講演をしていただく前に、乙武さんの著書「五体不満足」の一部読み聞かせをしたり、道徳の副読本に載っている「オトちゃんルールはあたりまえのルール」について話し合ったり、子どもたちと学習をしていました。

実際に会って話を聞いたり、実際にやっていただいたりすることで、さらに、子どもたちの心に訴えるものがあつたと感じました。

子どもたちの感想の中にも、あきらめないことと、差別や仲間はずしは絶対いけないということを読んだというものが多くありました。

様々な地域から集まり、ここ上海で学ぶ子どもたちに、とても大切なメッセージを頂くことができました。今後の子どもたちの力になる講演会でした。子どもたちや学校を支えてくださる保護者の皆様に、改めて感謝する1日でした。

